

進路だより

栃木県立栃木特別支援学校
進路指導部
2024年12月25日発行

保護者の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から本校の教育活動に対し、御理解、御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、今回の進路だよりでは、2学期に行った各学部の進路関係の行事を紹介させていただきます。

■校内実習■

A 中学部

10月1日(火)～4日(金)の日程で校内実習を実施しました。今回は行事の都合で、4日間という、いつもとは短い期間の実習となりました。火曜日始まりということも珍しいことでしたが、気持ちを切り替えて取り組みました。通常の作業班(軽作業班、おりもの班、紙工班)で、集中してがんばりました。



B 中学部、高等部

中学部は9月30日(月)～10月4日(金)、高等部は9月30日(月)～10月11日(金)を実習期間として設定しました。中高合同での校内実習とし、しらさぎ祭の販売に向けて、手漉き和紙のカレンダーやしおりの制作等、それぞれの役割を担い、協力して作業に取り組みました。自分の目の前の仕事に全力を傾け、作業工程の流れの中で引き継ぐ場面では、明るく声をかけながら、良い雰囲気を実習が行われました。



A 高等部

9月30日(月)～10月11日(金)の期間で校内実習を実施しました。今回は1～3課に分かれ、地域の企業様から受注したゴルフボールの洗浄、医療用スポイトのバリ取り、部材の袋詰め作業に取り組みました。緊張感を持って製品を扱ったり、挨拶や報告などの適切な作業態度を意識して実践したりする様子が見られました。



■産業現場における（現場）実習■

A 高等部

産業現場等における実習が、9月30日（月）～10月11日（金）の期間で実施されました。2年生は初めての現場実習、3年生にとっては卒業後の進路決定に向けた大切な実習でした。今まで作業学習や職業生活で学習してきたことを現場で生かそうと、挨拶や返事、言葉遣いや作業態度などに気を付けながら一生懸命に取り組むことができました。事後学習を通して、明確になった課題に意欲的に取り組もうとする生徒、頑張ったことや褒められたことが自信につながった生徒が多く見られました。



B 高等部

9月30日（月）から10月11日（金）の期間に、2年生と3年生が居住地の福祉施設で実習を行いました。2年生にとっては初めての実習で、最初は緊張していましたが、次第に新しい環境に慣れて支援を受け入れたり、活動を楽しんだりすることができました。3年生は1学期の実習の経験を生かし、周りの方と笑顔で関わったり、様々な活動にチャレンジしたりすることができました。実習報告会では、実習内容やよくできたこと、今後身に付けたいことなどを、一人一人が得意な方法で発表することができました。



■3学期の進路関係行事■

◆ 高等部

1 / 24（金）	実習激励会
1 / 27（月）～2 / 7（金）	産業現場等における実習・校内実習
2 / 14（金）	実習報告会

◆ 中学部

1 / 27（月）～1 / 31（金）	校内実習(A部門)
2 / 3（月）～2 / 7（金）	校内実習（B部門）

※状況により、予定している行事に変更が生じる場合があります。その都度、担任から御連絡いたします。

○障害基礎年金について

障害基礎年金は、障害により日常生活や就労に支障があると認定された際に、20歳以降に受け取ることができる年金です。障害の程度が重い方から1級、2級と2つの等級があり、支給される金額も異なります。また、申請したからといっても必ず支給されるというわけではありません。詳しい内容は、各市町の障害福祉課にお問い合わせください。